

高崎高校のSSHも3年目に入りました。各学年の様々な取り組みを紹介します！

1年～ 課題研究始めています…

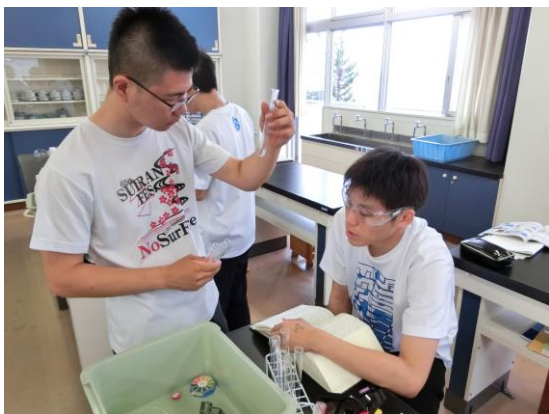
4月22日（日）の赤城オリエンテーション時に全体に向けたガイダンスを実施。その後研究ジャンルの希望を調査し、各クラス7グループ、計49グループが編成されました。原則3グループで1つのゼミ。研究ジャンルは、自然科学、社会科学、人文科学、更に学校行事等といった領域に統合され、5月2日（水）のSP（サイエンス・プロジェクト）Iの時間から各ゼミごとの活動が始まっています。
現在はP（plan）D（do）C（check）A（action）サイクルのPの段階。そろそろ各グループごとに研究テーマが決まってくるころです。



2年～ ○研究スキル習得講座を実施しました

本格的な課題研究を前に、研究に必要なスキルを実験やシミュレーションを通して学ぶ「研究スキル習得講座」が5月9日、29日、6月6日の3日間にわたり行われました。対象は2年1組の41名。それぞれ14名程度の3つのグループに分けて受講しました。内容は以下のとおりです。

- ◇定性分析入門講座：実験による未知試料の同定・実験ノートの書き方
- ◇統計学応用講座：統計学を用いたデータ処理方法
- ◇数理モデリング講座：研究対象のモデル化やコンピュータを用いたシミュレーション



定性分析入門講座の写真です。

○英語でディベートやっています

2学年の「ディベート講座Ⅱ」では英語ディベートを通じて、自らの考えを的確に相手に伝えるために必要な論理的思考力、判断力、表現力、英語活用能力の育成を目指しています。1年次に「ディベート講座Ⅰ」で学習したディベートの手法を応用しながら、英語ディベートに挑戦しています。今年度のテーマは「日本国は、本人の意思による積極的安楽死を合法化すべきである。是か非か。」です。第4回と6回は、群馬県立女子大学外国語教育研究所の講師を招いてワークショップを開催し、論理的な反駁方法について学びました。7月には校内英語ディベート大会を開いて、今秋に開催される群馬県英語ディベート大会「雷神カップ」への出場を目指しています。

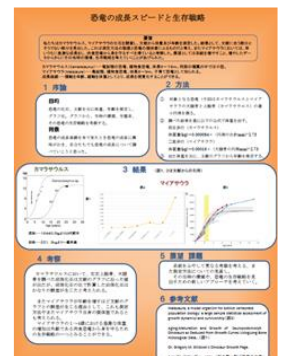


3年～

○SSHクラスの課題研究も終盤へ！7月19日は公開発表会！

SSHクラスが1年半かけて調査を続けてきた課題研究も7月19日に最終成果発表会をもって修了します。SSH-OBネットワークを活用してSSH事業を経験したOBにも指導助言を受けながら、一生懸命取り組んできました！

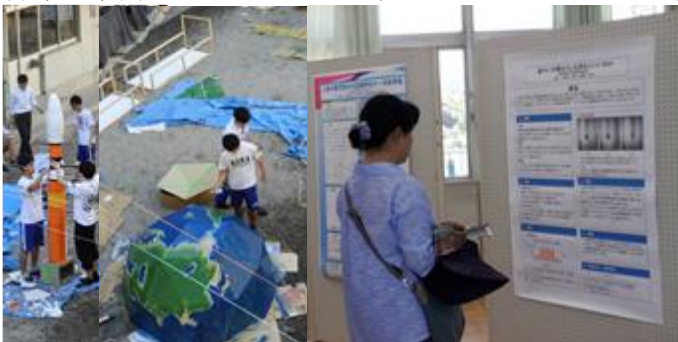
その中でも3年生SSHクラスの新海君と近藤君は本校の代表として全国SSH成果発表会(8月8日9日神戸国際展示場)で「恐竜の成長スピードと生存戦略」を発表します。この研究は県立自然史博物館と連携して進めてきた研究です。本校の代表として、研究の成果を全国に轟かせてください！！



and more ~

◇サイエンスフェスタ in 翠巒祭を開催しました！

高崎高校の文化祭(翠巒祭)において、2年生SSHクラスと3年生SSHクラスが合同で科学に関するクラス展示(サイエンスフェスタ)を行いました。



超伝導体の上を浮遊する磁石

◇スーパーサイエンス部の活動紹介

SSHの課外企画毎に参加者を公募しています！

SSH課外企画の一例：

- ・SSH部課題研究(1年～3年1学期まで) 現在、研究者：計19名
科学系部活動の顧問の先生を担当者として3年間かけて研究活動を行います！
- ・高崎健康福祉大DNA解析研修：8月20日
健大と連携して、遺伝子を扱う技術の原理と有用性に関する実験実習を行います！
- ・サイエンスキャンプ：8月11日・12日 ※参加者募集中
高高でSSHを経験したOBによるゼミ・講義・談話会を実施します！